

魅力ある県立短期大学づくりに関する 進路指導担当者へのアンケート集計 結果

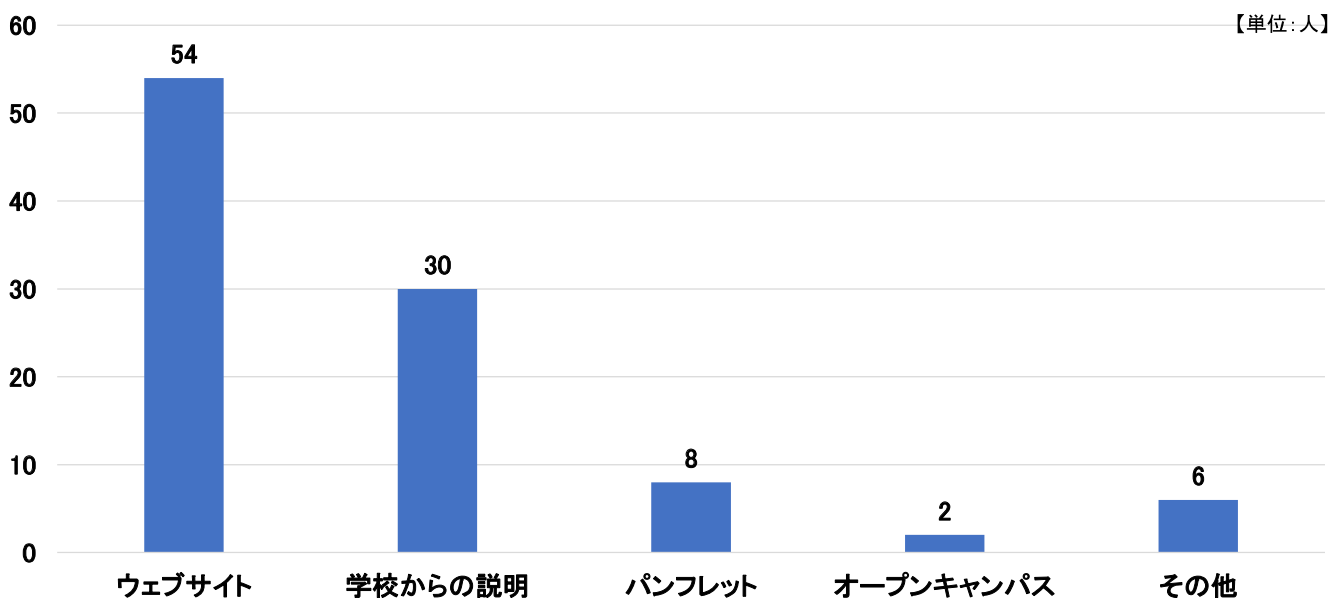
実施期間: 令和6年9月2日(月)～9月13日(金)

対象者: 令和4年度～令和6年度に鹿児島県立
短期大学に入学実績がある鹿児島県内
の68校の進路指導担当者

回答者数: 102人

1 進学先の情報収集方法(一択)

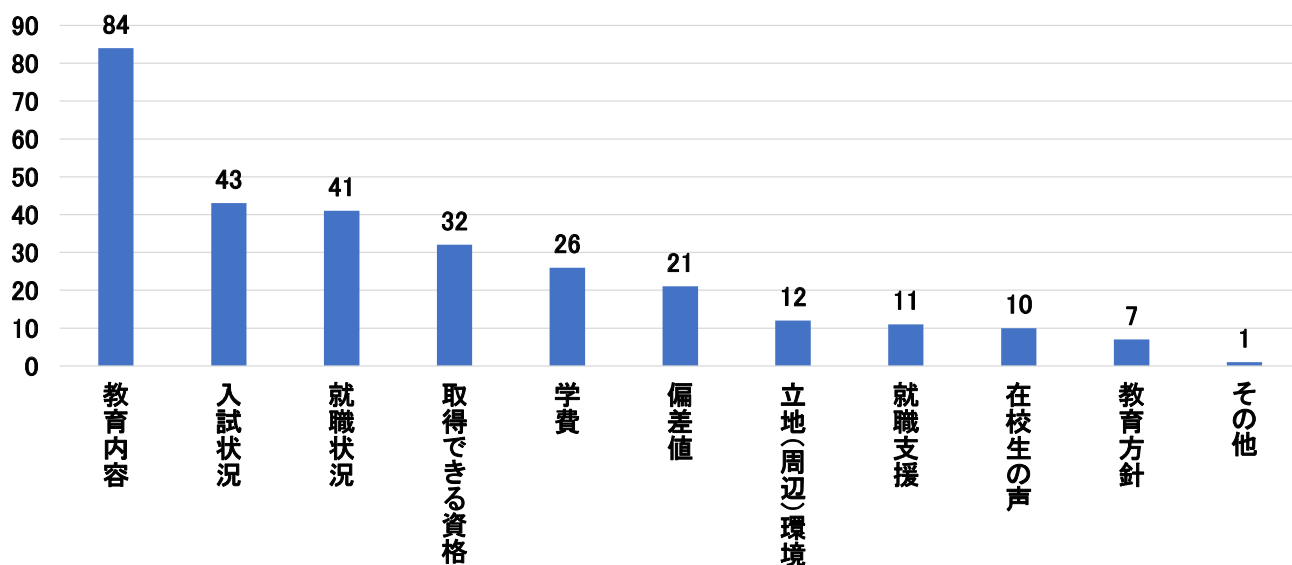
進学先の情報収集方法は、「ウェブサイト」が最も多く、次いで「学校からの説明」が多かった。



2 重視している進学先の情報(3つまで選択)

重視している進学先の情報は、「教育内容」が最も多く、次いで「入試状況」、「就職状況」が多かった。

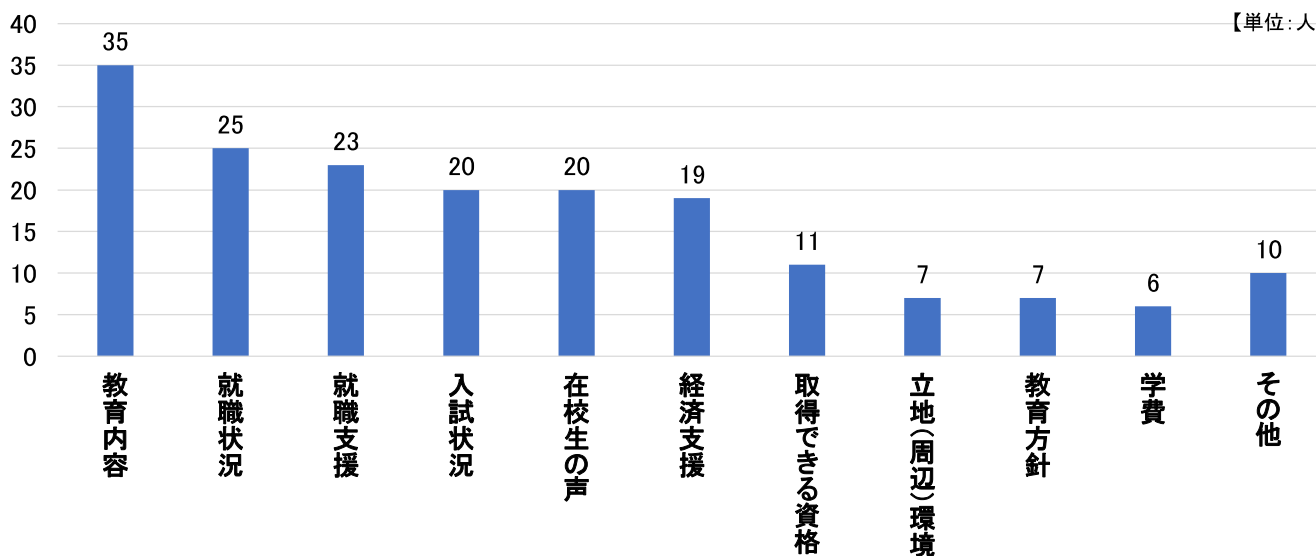
【単位:人】



3 不足している情報(3つまで選択)

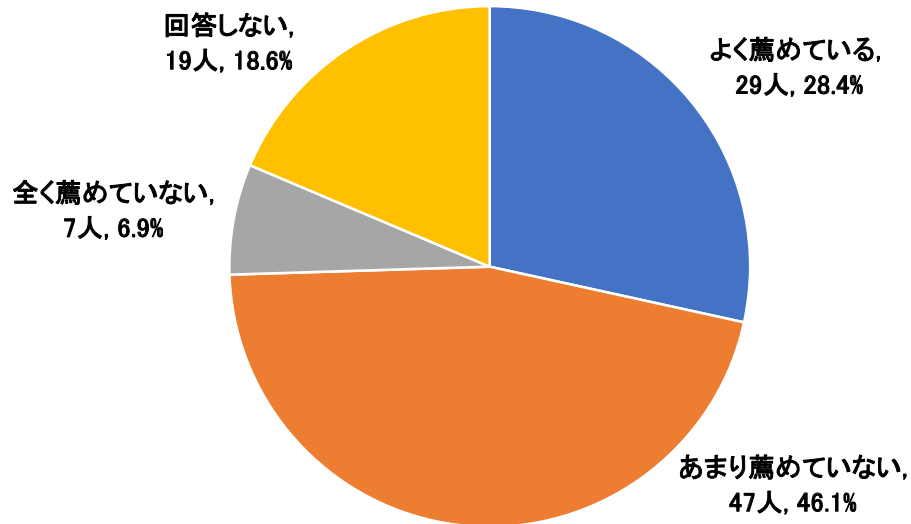
不足している情報は、「教育内容」が最も多く、次いで「就職状況」、「就職支援」が多かった。

【単位:人】



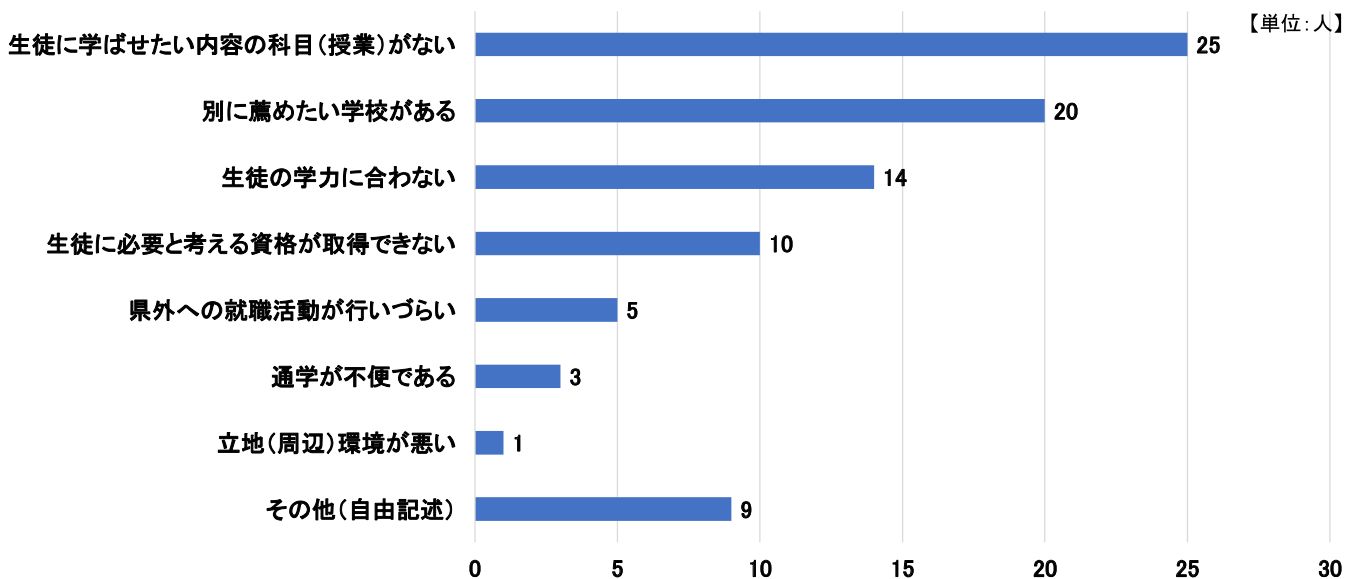
4 県立短期大学を薦めているか(一択)

進学先がはっきりと定まっていない生徒へ県立短期大学を薦めているか聞いた結果、「よく薦めている」が約3割、「あまり薦めていない」が約5割、「全く薦めていない」が約1割の回答があった。



5 県立短期大学を薦めていない理由(3つまで選択)

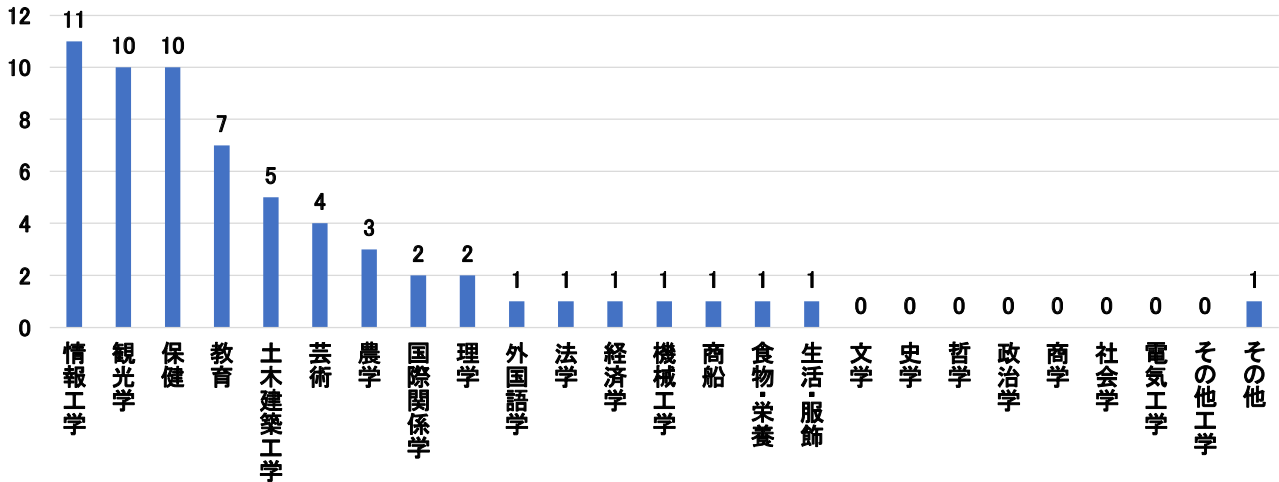
「あまり薦めていない(47人)」、「全く薦めていない(7人)」の理由として、「生徒に学ばせたい内容の科目(授業)がない」が最も多く、次いで「別に薦めたい学校がある」が多かった。



6 鹿児島県立短期大学にあれば生徒に薦める学部・学科系統(3つまで選択)

県立短期大学を薦めない理由として「生徒に学ばせたい内容の科目(授業)がない(25人)」と回答した進路指導担当者が、県立短期大学にあれば生徒に進学を薦める学部・学科は、「情報工学」、「観光学」、「保健」が多かった。

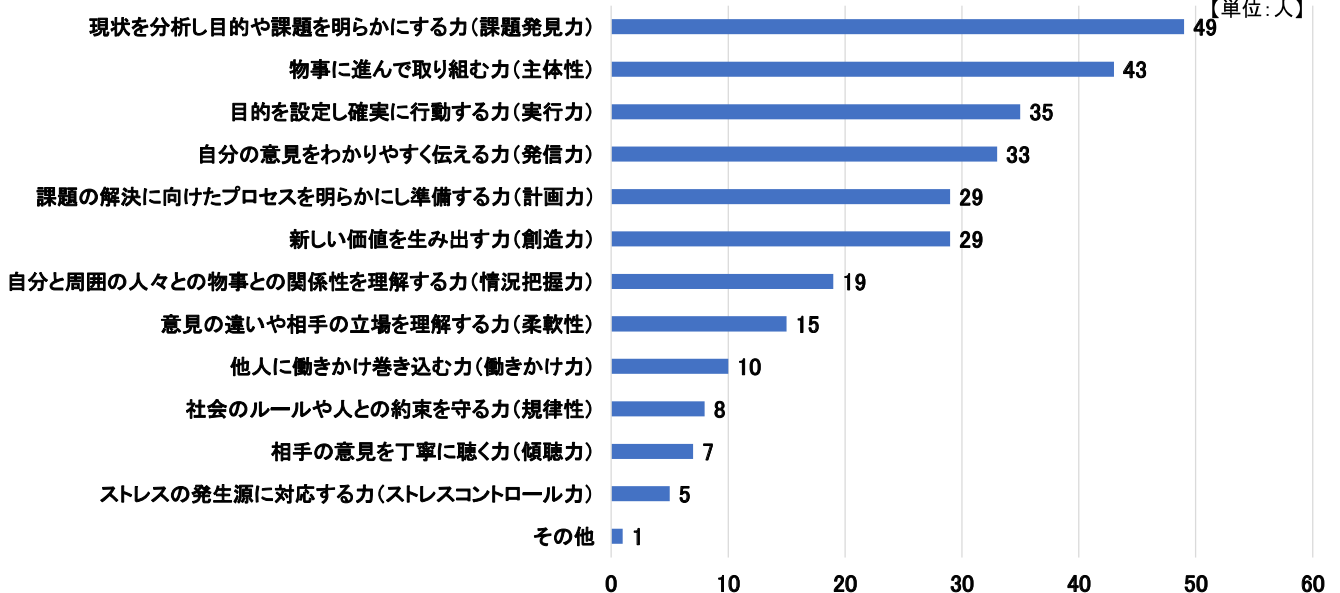
【単位:人】



7 伸ばして欲しい力(3つまで選択)

生徒に伸ばして欲しい力は「現状を分析し目的や課題を明らかにする力(課題発見力)」、「物事に進んで取り組む力(主体性)」、「目的を設定し確実に行動する力(実行力)」が多かった。

【単位:人】



8 取り組んで欲しい教育の主な意見(自由記述)

県立短期大学に取り組んで欲しい教育について36人から回答があり、その内容は次表のとおりであった。

回答	回答
AI等の情報関係の学習の充実	職業学習の充実
観光学科の創設	キャリア教育・就職支援の充実
教員養成の充実(小学校教育養成の拡大等)	第二部学科の継続
国際関係学・国際文化学の創設	生活科学の名称変更 (建築デザインが分かる名前への変更)
理科学科の充実	短期大学の継続
建築学科の充実	四年制大学編入への指導の充実
保健・医療系学科の充実	四年制大学への移行
看護学科の創設	四年制大学とは異なるカリキュラムの充実
「僻地医療」, 「災害医療」に特化した学習	高校との連携強化(高校での課題研究への助言, 高校での設備ではできない実践やアプローチ等)
管理栄養士資格の取得	立地の変更
教養学部の充実	